

# 北区日中会報

初 行 日  
令和 2年1月1日  
第49号

編集 北区日中友好協会広報  
発行 北区日中友好協会  
東京都北区王子2-14-17  
丸山事務所内 Tel03-3911-2381

令和 2年 迎 春



花川與惣太会長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様にはお健やかに新年を迎えて戴きましたこととお慶び申し上げます。

さて昨年の日中関係は、関係改善に向けて様々な努力が続けられました。6月のG20大阪サミット時に来日した習近平国家主席との間で日中首脳会談が開催されました。両首脳は、首脳相互往来を通じて日中関係が正常な軌道に戻り、新たな発展を得つつあることを確認するとともに、「日中新時代」を切り開いていくとの決意を共有しました。また、この機会を確実にとらえ、いわゆる「四つの文書」を含む両国間のこれまでの基礎の上に、双方の共通利益を拡大させつつ、長期的に安定した日中関係を構築することで一致しました。また、本年春には習近平国家主席が国賓として来日し、安倍晋三首相と日中首脳会談を開催する予定です。さらなる関係改善を期待できるものとみられます。

昨年の北区日中友好協会は充実した友好交流活動を続けてまいりました。定例の行事では、2月に春節餃子パーティーを王子小学校内のランチルームで盛大に開催しました。5月には総会と懇親会を開催しました。9月には令和への改元を記念し万葉集の世界をテーマに講演会を実施しました。また10月には区民まつりに参加しました。

さて、本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界から多くの人々の訪日が見込まれ、北区にはハンガリーの柔道協会及びフェンシング連盟の事前キャンプが予定されており、国際化も一段と進むものとみられ、お隣中国からも多くの方々が来日される見込みです。この記念すべき本年、北区日中友好協会は昨年以上の充実した活動を実施いたします。新春の春節餃子パーティー、春のスポーツ交流、秋のミニコンサートまたは講演会及びバスハイク等の定例行事を実施してまいります。また、友好協力関係にある北京市西城区からの訪問団の歓迎、あるいは中国留学生、就学生、帰国者の支援等の協会としての公共性を盛り込む行事、また北区の友好交流事業にも積極的に協力してまいります。

現在の日中関係は改善の方向に向かっていますが、世界の情勢は昨年に引き続き極度の緊張状態にあります。このような状況下で日中両国間の相互理解と交流はますます重要になります。

私ども北区日中友好協会は両国の人々の相互理解を深める草の根交流活動を今まで以上に進め、着実に成果が上がるよう努力をいたします。皆様のご理解とご協力を切に願う次第でございます。新年が皆様にとって幸多き年であることをお祈り申し上げます。

## 万葉集の世界 令和を迎えて 講演会開催

北区日中では去る9月27日、北とぴあ研修室で「中国女性が語る万葉集の世界」と題し、講演会を開催しました。講師の葉紅先生（駿河台大グローバル教育センター教授）は昭和女子大から早稲田大大学院留学時代に万葉集を専門に研究、当時、大変話題になった方です。初めに自身の文革時代の苦労話、

また文革後の大学受験復活第1期生であり、現在の王毅外相とは北京の第二外国语学院アジア・アフリカ言語学部日本語科で同期とのことでしたが、入学時に英語科を希望したにもかかわらず、日本語科に入れられたとのことでした。当時はまだ、個人の自由意思で進路が決められない時代ではありました。日本のODAにより中国のインフラが整備されたことを知り、日本



が大好きになり、感謝していると話されました。万葉仮名で書かれた万葉集に出会った日本留学当初は、漢字で書かれているにもかかわらず、全く意味がわからず、衝撃を受けたものの、天皇から庶民までの広い層の人たちが、日常や自然、男女の恋などを素朴な感情で歌に詠んでいることに惹かれたとのことでした。元号の令和の典拠とされる大伴旅人の観梅の宴の解説の中

で万葉集では桜よりも梅の方が多く詠まれているとのことでした。最後に司会から駐日大使館の参事官であった葉先生のお父様と友好交流部勤務のお母様のご尽力で王子小学校と北京第一実験小との姉妹校交流が始まり、これをきっかけに北区と北京市宣武区（現西城区）の姉妹区締結に発展したことが紹介されると60名を超える聴衆から大きな拍手が講師に送られました。

## 区民まつりが開催される 国際ふれあい広場に協力

10月5、6日の両日、飛鳥山公園で開催された区民まつりの国際ふれあい広場に役員、会員を本部ボランティアとして派遣しました。国際ふれあい広場には中国、韓国、フィリピン、イタリア等の団体が出店しました。国際ふれあい広場も例年と同様、多くのお客様が訪れ、世界の様々な味を楽しんでいました。高校の生

徒さんたちのボランティアがバングルダンスで活躍、訪れたお子さんを楽しませていました。同日夜のステージは例年以上の高いパフォーマンスが演じられ、多くの方々が楽しんでいました。6日の午前中はあいにくの雨で、人出が心配されましたが、昼過ぎより回復、例年の賑わいが見られました。当日も高校の生徒さ

んが大活躍、子どもたちに人気のバングルダンス指導に大奮闘していました。キャラクターショーの後では昼、各テントには行列が作られ、それぞれの国の味を楽しんでいました。区民まつりが終了を迎えるころには、店舗のなかには完売の張り札が出され、早仕舞いのテントも出てきました。

# 葉 啓漸 先生のご逝去を悼む

「丸山さん、王子小学校の姉妹校が決まりました」との連絡が葉先生からあり、その伝達式が当時、父が入院中の帝京病院の病室で王子小の校長とPTA会長も同席の上、行われた。1985年7月のことだ。その相手校とは中国屈指の名門校である北京第一実験小である。これに遡ること半年前、今から35年前に挙行された王子小創立10周年記念式典に中国大使館から王豊玉参事官と葉先生の奥様で友好交流部勤務の曾麗鄉女史を来賓としてお招きし、その折に110周年記念協賛会長を務めていた私の父が王子小と中国の小学校との姉妹校交流の橋渡しを依頼したところ、大使館の一等書記官であった葉先生のご尽力で北京第一実験小が相手校に選ばれた。王子小にとっては大変な名誉であり、その後、両校の少年野球チームの相互訪問交流、実験小からの2度にわたるプラスバンド訪問団など、現在も両校の交流は続いているが、この小学校交流が元となり、1993年4月に北区と北京市宣武区(現西城区)との姉妹区締結に発展した。元を辿れば、父と私が1981年に初訪中



した時の現地通訳が曾女史であり、(その時点で既に葉先生は日本の中国大使館勤務)女史が翌年に大使館勤務となつてからは家族ぐるみのお付き合いを頂いていた。そうした中で小学校の姉妹校交流がご夫妻のご尽力で実現したわけだが、当時の北区日中の北本正雄会長(前北区長)から休眠中の北区日中立て直しに協力してほしいとの要請を受け、親子で北区日中に入会させて頂いた。それまで日中友好協会の存在すら知らずにいたが、葉先生ご夫妻のアドバイスとご協力で何とか役職を果たしてきた。本年の9月にご夫妻の長女である梶山葉紅先生を講師に迎え、講演会を開催したところ多くの会員、区民が会場を訪れ、大変好評であった。講演会の数日前、打ち合わせも

兼ね、二世帯同居の葉先生宅に私たち夫婦がご招待を受け心温まるおもてなしを受けた。そして、その二ヶ月後に葉先生の訃報が届いた。11月26日ご逝去、享年88才。突然の悲報に驚きと悲しみを禁じ得なかつたが、ご自宅へのお招きは最後のお別れのためであつたものかと自分を納得させていく。私が日中友好に携わっているのも、また北区と西城区との交流が現在も続くことも葉先生抜きには語れない、井戸を掘って下さった方である。

葉啓漸先生のご冥福を心からお祈り申し上げるとともに、これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。

令和元年12月8日

北区日中友好協会  
事務局長 丸山隆司

\*葉啓漸先生は参事官を最後に大使館勤務を終え、一旦、中国に帰国後、華僑総会勤務で再び来日し、その後、日本人と結婚されたお嬢様ご家族と都下で穏やかな余生を送られていました。北京での青年外交官時代は周恩来総理や中日友好協会の廖承志会長の通訳を務めていました。(日本語が堪能であった廖会長の通訳をされたのは葉先生の日本語の実力だけでなく、お人柄によることも大きかったものと推察します。写真左から二人目が若き日の葉啓漸先生、右端は周恩来総理)

# 新年好！2020年 春節餃子パーティー開催のお知らせ

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

さて本年の旧正月(春節)は1月25日ですが、恒例の春節餃子パーティーを下記の通り開催します。友人知人お誘い合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

☆ 日時 2月2日(日) 正午より

餃子作りをお手伝いして下さる方は午前9時より開場しておりますので、ご協力を願います。

☆ 会場 王子小学校 1階 ランチルーム

(東京都北区王子2-7-1)

京浜東北線・南北線王子駅北口より徒歩8分)

☆ 会費

日本人2,000円

中国人2,000円

留学生1,000円

子供1,000円、幼児は無料



全員に当たる  
bingoゲーム！

※ タイムスケジュール

9:00~12:00 餃子作り 12:00~14:30 パーティー

※ 参加ご希望の方は事務局にご連絡下さい。1月24日までにお願いします。

北区日中友好協会 北区王子2-14-17 丸山事務所

Tel3911-2381 FAX3913-2381

Eメール maru23@gol.com

※ 会場の定員(200人)を超えた場合は申込を締め切ります。ご了承下さい。